

マイクロバブルで水中の小さなゴミを除去

発明の名称： 水の浄化方法とその方法に用いる泡沫分離装置

発明者： 山本義久

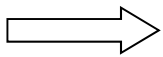
共有特許権者： (有)栄和商事

番号： 特許第5130428号(特願2007-314248)

管理番号154

解決すべき課題

- ① 循環システムのインシャルコストが高価格
- ② システム維持の為のコストや作業の繁雑さへの不安



省コスト・高性能な閉鎖循環飼育装置の開発が必要

発明のポイント

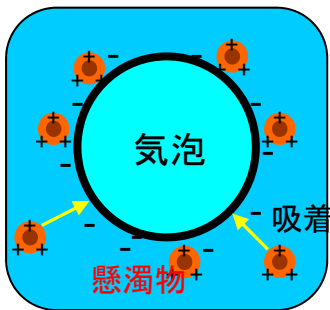


図1 気泡による懸濁物除去の原理

- ・単純な構造の新方式のマイクロバブル発生装置を用いた効率的な気液混合方法
- ・その方法を用いた泡沫分離装置の開発

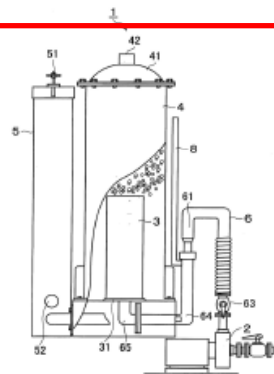


図2 泡沫分離装置の構造

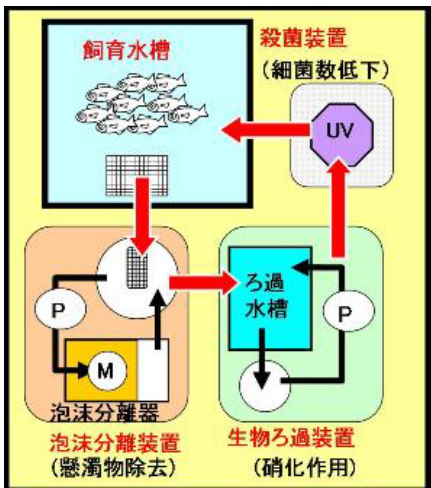


図3 閉鎖循環飼育システムの概要



写真1 閉鎖循環飼育システムに設置された泡沫分離装置

【開発した泡沫分離装置の特徴】

- ① 30μm以下の微細懸濁物の除去能力が高い(図4)
- ② メンテナンスが容易
- ③ 低価格になりうる構造特性

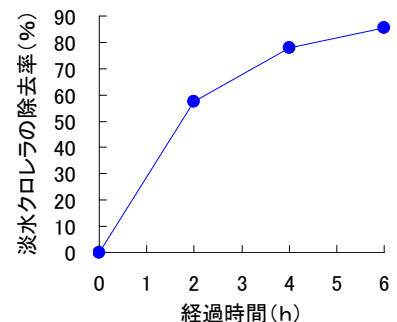


図4 クロレラの除去能力の比較

新しいろ過方式での生物ろ過装置開発
高効率・メンテナンスフリーの特性

循環式の水のろ過装置(特許第460087号)と組み合わせて

- ・閉鎖循環飼育システムの各装置の低コスト化・高性能化により普及型システムを構築
- ・種苗生産機関での閉鎖循環飼育の普及により安定して高効率生産が可能
- ・陸上閉鎖循環養殖の産業的普及のためのモデルケース

装置の詳細については、
有限会社 栄和商事に
お問い合わせください。
TEL 087-879-6262